

会議録

会議の名称	弘前市名誉市民選考委員会（第1回）
開催年月日	平成26年11月27日（木）
開始・終了時刻	16時00分から16時40分まで
開催場所	弘前市役所 本館2階 特別会議室
議長等の氏名	永澤 弘夫
出席者	委員長 永澤 弘夫 委員長職務代理者 神 忠男 委員 佐藤 敬 阿部 精一 白取 幹人 櫛引 梅子 堀川 彩子
欠席者	なし
事務局職員の職氏名	経営戦略部理事兼政策推進課長 櫻田 宏 経営戦略部政策推進課長補佐 佐藤 弘道 経営戦略部政策推進課秘書担当主事 佐藤 麻美
会議の議題	弘前市名誉市民候補者について
会議結果	下記会議録のとおり
会議資料の名称	弘前市名誉市民選考委員会資料一式
会議内容 (発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)	<p>【組織会】</p> <p><u>1 開会</u></p> <p><u>2 委嘱状交付</u></p> <p><u>3 市長挨拶</u> (事務局から) 委員紹介 配布資料確認 条例及び委員会概要について説明</p> <p><u>4 委員長及び委員長職務代理者の選出</u> • 仮議長選出 → 神委員 • 委員長互選 → 永澤委員 • 委員長職務代理者指名 → 神委員</p> <p><u>5 閉会</u></p> <p>【第1回選考委員会】</p> <p><u>1 開会</u></p> <p><u>2 質問書提出</u></p>

	<u>3 名誉市民選考委員会の会議について</u>
(議長)	まず、会議の非公開について、事務局から説明をお願いする。
(事務局)	(条例第9条第4項に基づき、本会議については非公開とし、選考委員会が認める場合は公開することができることとなっている旨説明。)
(議長)	ただいまの説明に基づき、会議は公開しないこととしてよろしいか。
	(異議なし)
(議長)	それでは、会議は非公開で行うこととする。 続いて、今後の会議の進め方について、事務局から説明をお願いする。
(事務局)	(今回の会議で、事務局から候補者についての説明後、質疑応答と意見交換を行い、次回会議で、今回の意見を取りまとめた結果をもとに候補者として決定するか再度審議のうえ結果を答申すること、候補者として決定した場合は、候補者に受賞の意思確認を行い、内諾をいただければ、来年3月の市議会定例会に議案として提出し、議会の同意を得て、最終的に名誉市民として決定されることを説明。)
	<u>4 名誉市民候補者について</u>
(議長)	次に、次第4の「名誉市民候補者について」ですが、配布資料に基づき、事務局から説明をお願いする。
(事務局)	(配布資料をもとに、候補者の功績及び経歴を説明。 また、事務局として、名誉市民候補者の対象者を検討するにあたり、条例第2条の要件及び活動内容や事績がピークを迎えたか、客観的に見て社会一般の評価が一定以上あるか、市民のコンセンサスが得られるかの点に留意し、これらを総合的に検討して、諮問するに至った旨説明。)
(議長)	ただいまの説明に対し、質疑または意見はないか。

(堀川委員)	<p>一言申し上げるならば、何も異議を申し述べる余地はない。全面的に評価する。</p> <p>私事ではあるが、佐野さんは、7つほど先輩だが、子供のころから存じ上げており、今回選考委員に選んでいただいたのも何かのご縁だと思っている。</p>
(櫛引委員)	<p>佐野さんは、中央でものすごく評価されている。東京にいたころ、銀座のギャラリーに個展を拝見しに行ったことがあるが、ものすごく色も良い。</p> <p>頭の低い、人柄の良い方なので、適していると思う。</p>
(白取委員)	<p>今までの実績などを拝見すると、これはもう当然というところで、今まで名誉市民にならなかつたのはなぜだろうというくらい。ぜひ名誉市民になっていただきたいと思う。</p>
(阿部委員)	<p>すごい芸術家だと感じている。</p> <p>鷹揚郷病院に絵が飾られると、みなさん立ち止まって絵を見るくらい、非常に市民に親しまれている。</p> <p>本人と会ったことはないが、佐野さんの書いている「青」は、会ったことがない方でもみなさんが知っており、親しまれていようだと感じる。弘前市にも大きい貢献をしていると感じており、異議のないところである。</p>
(神委員)	<p>ステンドグラスを設置された方。弘前市出身の偉大な方であり、誇りに思えるのではないか。異議がないところ。</p>
(佐藤委員)	<p>素晴らしい実績のある方であると思う。</p> <p>ご本人は存じ上げないが、実績の説明を聞き、素晴らしい方であるとあらためて認識した。</p> <p>先ほど白取委員もおっしゃったように、もっと早く顕彰ということにならなかつたのかなという気もする。</p> <p>(事務局の) 説明にもあったように、実績がピークに達しているかどうかというところがあつたが、こういうのはやはり、ピークに達してからというものなのか。</p>
(事務局)	<p>今後の活躍を含めてというところもある。</p> <p>ある程度、実績が固まって、社会的な認知度も十分あるなど</p>

	<p>いうところまでこられている方。</p> <p>これからますますという部分も含めての事績だが、旧弘前市では、72歳ということで、年齢的に、まだまだこれからのご活躍が期待できるということだった。その後女子美術大学の学長も退任しておられるため、今回適任ではないかということを考えていた。</p>
(永澤委員)	<p>佐藤委員と同じく、ピークから下っていく人にあげるのはおかしいではないかと思う。72歳で若すぎるというのも、その後10年経てば亡くなられる方もいるのでは。</p> <p>それ相応の実績と人格と品位があれば、推薦するのが筋ではないかと個人的には思う。事務局でも、ご検討いただきたいと思う。</p>
(事務局)	しっかりと検討する。
(議長)	ほかに意見は。
(阿部委員)	<p>同じような意見であるが、選考委員に選ばれたときから、誰の名前が出るのかと思っており、佐野さんかとも考えたが、すでにもらっていたかという思いが強かった。</p> <p>(佐野さんに) 中央高校の関係で一回お会いしたが、とても元気な方。</p> <p>大胆に絵を描くという印象。</p>
(永澤委員)	<p>ありがとうございました。</p> <p>はやぶさの方(川口淳一郎氏)も弘前市出身の方であるが、まだ若すぎるのか。</p>
(事務局)	<p>そのあたりは今後しっかりと検討していく。</p> <p>名誉市民条例は、平成18年の市町村合併時に制定したもの、それから9年選考してこなかったという経緯があるため、事務局側としてもこれを今後につなげていきたいと考えている。</p>
(永澤委員)	名誉市民に選考されてからまたご活躍されれば、我々も、選考が間違ってなかつたということになるので、そこも踏まえて、検討をお願いしたい。

(議長)	だいたい意見も出尽くしたため、このあたりで意見交換を終了し、本日の会議を閉じ、次回会議において、今回の意見を取りまとめ、候補者としてふさわしいかをあらためて審議のうえ、市長に答申することとする。
(永澤委員)	なお、順番は前後したが、私も賛成である。
<u>5 その他</u>	
(議長)	次に「その他」として、事務局から何かあるか。
(事務局)	(次回会議の日程案について説明)
<u>6 閉会</u>	
(議長)	スムーズな議事進行にご協力賜り、ありがとうございました。 以上をもって、第1回名誉市民選考委員会を閉会する。 ご協力ありがとうございました。
(事務局)	それではこれで、委員会を終了させていただく。 次回の日程調整をよろしくお願ひいたします。
< 終了 >	
その他必要事項	・会議は非公開